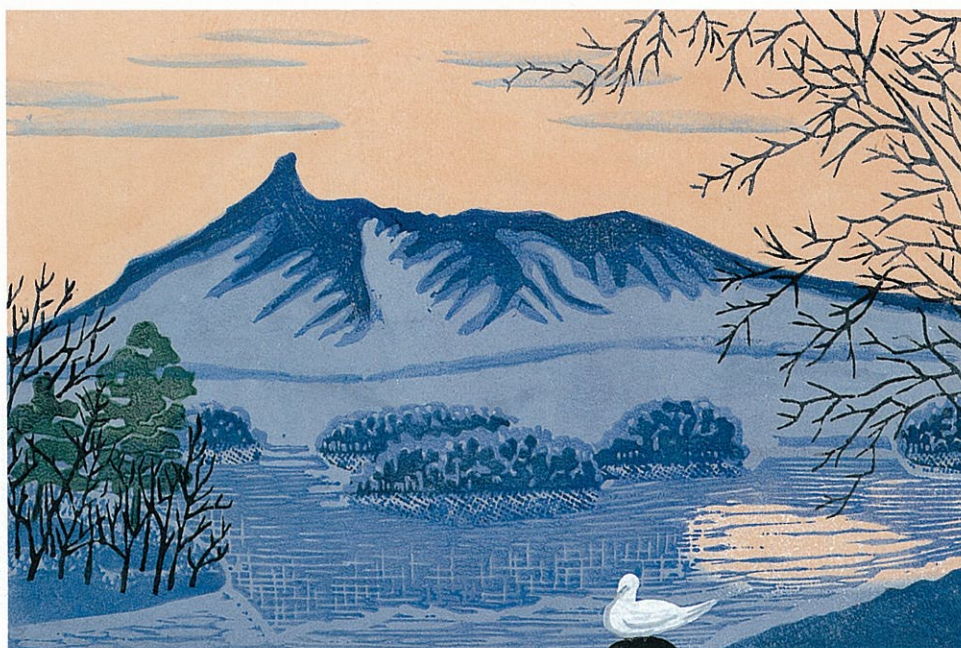


(一財)札幌市環境事業公社 情報誌 第13号

アンパス

un pas

フランス語で「一歩」の造語。一歩一歩お客様との絆を深め、
ともに環境への理解を深めるという意味を込めました。



『大沼の風景』 小出 匡 作

「アンパス」第13号をお届けいたします。

今号は、イラストを変えた書類の収集に関する説明と、三造有機リサイクル(株) 札幌飼料化リサイクルセンターの施設紹介となっております。

本誌に対する皆様のご意見等がございましたら、ぜひお寄せください。

教えて!

パッカー博士



書類を廃棄するときの疑問にパッカー博士がお答えします!

今日のごみはこれで全部ね。

そういえば、そろそろ年に一度の書類整理の時期だね。また結構な量の書類を棄てなきゃならないわね。

書類ってごみで出すにしても誰かに見られないか心配なのよね。

★★★★キャラクター紹介★★★★



パッカー博士

札幌市環境事業公社の収集に長年携わっている古参の収集車（パッカー車）型は古いがまだまだ現役、知識も豊富
仲間の収集車たちからは「パッカー博士」と呼ばれ慕われている



未来みどりさん

市内の会社に勤める OL さん
去年の4月から社内のごみの担当として奮闘中!

かなりの量だから全部シュレッダーも出来ないし…。あつ、収集車が来たわ。こんにちは、博士!

こんにちは、みどりさん! 今日元気に収集しとるぞ~!



なるほど、確かにそれは気になるところじゃな。

書類を「一般ごみ」で収集する場合の説明で良いかな?

実は他のお客さんからも聞かれることがあるんじゃないよ。

ねえ博士、教えて欲しいことがあるの…、

今度社内で書類整理があつてかなりの量の書類の収集をお願いする予定なんだけど、収集してもらった書類ってどうやって処理されるのかなあ…?

人目に触れたりしないかちょっと心配なんだけど…、全部シュレッダーはできないし…。

そうなんだあ! それじゃあ博士、ぜひ教えて!!

まず、収集する時じゃが、基本的に収集員が書類の中身を見るようなことはないから安心して欲しいんじゃ。

そうよね! それはわかってるわ。





収集車に積み込んだあとじゃが、処理施設に搬入するまで収集の途中で荷箱を開けることは無いんじや。

うん、うん、なるほど。

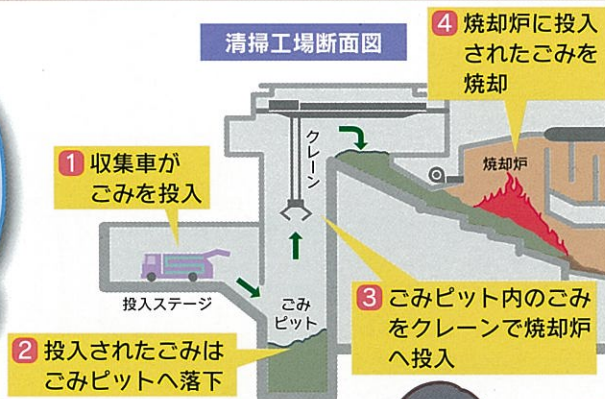


そして、「一般ごみ」の場合は清掃工場へ搬入して焼却されるんじやが、これを見られるかな。

このように、投入ステージからごみピットにごみを投入するんじやが、人手をまったく介さないし、もちろん清掃工場のごみピット内は人が出入りできない場所じやから、投入されたごみが人目にさらされることは無いぞ。

そしてごみピット内のごみは、遠隔操作のクレーンで焼却炉に投入されるんじやよ。

清掃工場断面図



へえ～、そうなんだあ～、
安心したわ！



ちなみに、環境事業公社では『搬入証明』といって、収集したごみをどこの処理施設に搬入したか、その施設ではどのような処理がされるかを記載した書類も発行しておるんじや。

へえ～、『搬入証明』をもらうと社内での管理にも役立ちそうね。



そうじゃな、お客さんの必要に応じて事前に依頼して欲しいんじや。それから書類を排出する場合には次のことをお願いしたいんじや。

次の理由で必ず事前連絡をお願いします。

- ★ 料金形態が「重量制※」となる場合があるため。(※: 0.02m³ 当り 5kg を超える場合は、1kg 当り 27 円となります。)
- ★ 多量に排出する場合は、別の収集車を配車する必要があるため。



な～に、
お安い御用じゃよ！
さあ、収集再開じゃ！！

わかったわ。

どれくらい書類を収集してもら
うか決まったら電話するわね。
どうもありがとう、博士！！



会社などから出るごみについてご不明なことがございましたら、札幌市環境事業公社（電話番号 219-5353）までお問い合わせください。また、環境事業公社ホームページも併せてご活用ください。
<http://www.kankyousapporo.jp>

施設紹介

三造有機リサイクル(株) 札幌飼料化リサイクルセンター

環境事業公社では、札幌市内の学校・ホテル・スーパー・飲食店などから排出されるリサイクル用に分別された生ごみの収集運搬を行っています。

収集された生ごみは、札幌市内及び近郊にある3カ所の生ごみリサイクル施設に搬入された後、飼料・堆肥の原料にリサイクルされており、平成25年度には約24,600トンの生ごみがリサイクルされています。

札幌市東区のリサイクル団地にある札幌飼料化リサイクルセンターは、平成10年1月に全国で初の生ごみ飼料化プラントとして稼働を開始した施設です。ここでは、搬入された生ごみの水分を分離し、油で揚げた水分を蒸発させた後に油分を分離して、粉末状の飼料原料の製造を行っています。

当施設を運営する三造有機リサイクル(株)では、施設内にバイオガス発電設備を新設し、国が行っている再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)を利用して、平成26年3月から発電を開始し売電を行っています。

バイオガス発電は、生ごみ処理時に分離した水分(分離液)からメタンガスを製造し、脱硫設備でガス中の硫化水素を除去した後に、発電機で電気エネルギーに変換する資源循環・低環境負荷型の発電システムです。

現在、札幌飼料化リサイクルセンターでは1日当たり約3,000kWhの発電を行っています。平成26



【発酵槽】



【発電機】

年には69万kWhの発電を行い、所内での消費電力を差し引いた64万kWhを北海道電力に売電しています。

(平成26年3月～12月の実績量)

施設概要	
施設名称	三造有機リサイクル(株) 札幌飼料化リサイクルセンター TEL011-792-3310
所在地	札幌市東区中沼町45番53(札幌市リサイクル団地内)
施設規模	敷地面積 5,500m ²
建屋	鉄骨構造 1,576m ²
施設能力	生ごみ処理能力 : 68トン/日
	再生品生産 : 12トン/日
	発酵槽 : 1,200m ³ 1基
	発電機 : 50kW 5基
竣工	平成10年1月

生ごみリサイクル収集にご協力していただいているお客さまへ(お願い)

お客様から分別排出いただいている「生ごみ」に、金属製品、調理器具、食器等の異物が混入すると、施設の故障原因となります。「生ごみ」を排出される際は、絶対に異物を混入させないようにご協力をお願いいたします。



【混入していた金属製品等】

平成27年3月発行

編集・発行／一般財団法人札幌市環境事業公社
札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル

<http://www.kankyousapporo.jp>

- 本誌に関するご意見、ご要望等
電話 219-2053 FAX 219-0882
- 事業系一般廃棄物の収集全般に関すること
電話 219-5353 FAX 219-0053